

産業経済常任委員会

▼降雹による農作物被害を調査

六月二十二日に六十数年ぶりという甚大な農作物の降雹による被害が江刺区稲瀬地内を中心にみまわれました。

特にブランド品江刺りんごに打撃が大きく、被害面積五〇ha、被害額約一億二千万円と確認されました。

常任委員会では、被害直後と出来秋の二回に渡り現地を訪れ生産者の皆様を励ますと共に、状況把握につとめて参りました。



被害直後のりんご園

▼全国ががんばる商店街七十七選

「江刺区蔵まち」を視察

新市奥州市の課題の一つ、中心市街、とりわけ、商業地域のまち



蔵まち通りと蔵まち郷土食材館「えびや」

づくりをどうすすめるか。

その先進事例の一つとして、全国七十七選に選ばれた江刺区川原町と、中町通りに展開されている通称「蔵まち通り」を視察致しました。

まちおこし会社「黒船」が中心となつて工夫と努力によつてつくられた「蔵構えの店舗群」「蔵町モールの整備」「遊歩道やイベント広場の整備」など、英知を結集し、地域が一丸となつて取組んでいる姿勢に感激いたしました。



特別委員会報告

▼北上川治水対策特別委員会

―北上川治水対策事業について

六月二日に設置されました、北上川治水対策特別委員会は、八月七日休会中の現地調査を六ヶ所行いました。現在まで旧市町村で国・県または市町村に早期実現のため要請要望してきた重要懸案事項であり委員会を開催し鋭意調査を行いました。

以下は調査地であります。前沢区の無堤地区である北上川左岸赤生津地区、衣川区北上川支流衣川築堤及び接待館遺跡等衣川遺跡群、平泉バイパス北側接続等々衣川橋計画地、水沢区の二渡暫定堤防及び無堤地区である黒石地区と佐倉河水沢工業団地の東側、江刺区の稲瀬暫定堤防など各区の治水対策の懸案事項を市執行当局から都市整備企画室長等による総合的説明、各区担当課長はじめ岩手河川国道事務所の職員にも出席いただき調査いたしました。奥州市となった今、各区の現状を正確に把握し危険区域の早期改修、築堤の進捗状況、遺跡群等の保護保存に適切で適切な要望を重ねていく必要があると思われまふ。



北上川支流衣川築堤工事現場

▼競馬事業調査特別委員会

今年度の岩手競馬は、半年が過ぎても売り上げが思うように伸びず、非常に厳しい状況にあります。

このような中で、競馬事業調査特別委員会は、六月議会以降、議閉会中を含め五回の委員会開催と、幹事を中心に盛岡市議会との意見交換会（二回）、岩手県競馬組合議会の傍聴（二回）など、精力的な調査を行ってきました。

委員会には、市執行当局のほか岩手県競馬組合の役職員にも出席いただき、今年度の営業実態や課題等の説明を求め、各議員から活発な意見や提言を行いました。

また、盛岡市議会と連名で、県競馬組合管理者の知事に対し、岩手競馬の運営に関する「要望書」を提出し、一定の回答を得ています。

いま、構成団体による三三〇億円の融資を盛り込んだ「新しい岩手県競馬組合改革計画（案）」が示されるなど、岩手競馬を取り巻く状況が、非常に重要な局面を迎えていることから、今後も積極的な調査活動を展開します。



盛岡市議会との意見交換会